

## 平成 29 年度第 1 回恵庭創生懇談会議事録（要旨）

日時	平成 29 年 6 月 28 日（水） 16:00～17:30
場所	恵庭市役所 3 階第 1 委員会室
出席者	小磯 修二（一般社団法人地域研究工房代表理事）
	増渕 隆昭（恵庭工業クラブ（サッポロビール株式会社北海道工場副工場長）
	安保 貴弘（恵庭商工会議所青年部（宏和建设株式会社代表取締役）
	橘内 勇（学校法人鶴岡学園北海道文教大学副学長）
	切明 毅（学校法人産業技術学園事務局長）
	林 和則（北洋銀行恵庭中央支店長）
	尾田 聡（北海道銀行恵庭支店長）
	伊藤 順之（連合北海道恵庭地区連合会長）
	佐藤 康介（社会保険労務士）
	葛西 春季世（千歳公共職業安定所（ハローワーク所長））
	渡邊 幹夫（北海道石狩振興局地域創生部長）
議題	（1）地方創生加速化交付金効果検証について
	（2）平成 28 年度地方創生推進交付金効果検証について
	（3）平成 29 年度地方創生推進交付金採択状況について
	（4）恵庭市における C C R C 実現に向けた可能性調査及び方針（案）について
	（5）まちづくり拠点整備事業について
	（6）その他（今後に向けての総合戦略改定についての意見）

発言者	内容
司会	【次第 1. 開催あいさつ】 企画振興部次長 大槻より開会のあいさつ。
市長	【次第 2. 市長あいさつ】 お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。平成 29 年度第 1 回目の恵庭創生懇談会となります。平成 27 年 10 月、総合戦略の策定にあたって、懇談会を設置しました。昨年 28 年度は、平成 27 年度に実施された事業の検証や、このまちに必要な事業等へのご意見をいただいて、総合戦略を改定しました。平成 29 年度以降は改定した総合戦略に基づいて進めていきます。総合戦略に記載されている事業は、私たちが重点的に取り組む施策で、恵庭市の方向性が定まっているものと考えています。今後とも皆様のご意見

	をいただいて、総合戦略を見直していきながら更に前へ進んでいきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。
司会	事務局の紹介。 配布資料の確認。
事務局	【次第3．恵庭市総合戦略と恵庭創生懇談会について】
司会	【次第4．恵庭創生懇談会委員あいさつ】 千歳民報社の尾野様1名の欠席を伝える。 以下、委員あいさつ。
A委員	少しでも恵庭市のために動けるような形で声を出させていただいて、より良いものをつくっていきたくと思っています。よろしくお願い致します。
B委員	建設業の立場から色々なご意見等を出していき、まちづくりに協力したいと思っています。よろしくお願い致します。
C委員	地域に人が居つき、増えていき、地域が活性化するという大前提は働く場所があることだと思っています。そういう面でハローワークがお手伝いできることはあるかと考えています。よろしくお願い致します。
D委員	大学の関係で恵庭に住んでいる学生は1,000人ほどいるかと思っています。恵庭を第二のふるさととなるように微力ながらお手伝いさせていただきたいです。よろしくお願い致します。
E委員	高等教育機関の立場で、どう恵庭市に貢献していけるのか、若い人材が恵庭市、北海道の中で活躍できるのかを考えながら学校運営をしています。また、この懇談会に参加させていただくことで、様々なヒントを得ることができ、それを教育の現場で生かしていけたらと思っています。よろしくお願い致します。
小磯委員	平成27年度から総合戦略の策定、改定に座長として携わらせていただいています。引き続きよろしくお願いしたいと思います。今年度から北海道大学公共政策大学院の研究者として、これまで私が行ってきた活動を踏まえて、政策コンサルティング活動を始めています。地域の活性化に色々な面でお手伝いできる活動を展開していこうと思っています。恵庭のまちづくりにも何らかの形でお手伝いできればという思いです。よろしくお願い致します。
渡邊委員	今年の4月から地域創生部長に着任しました。地域創生5年の期間の中で、今年は3年目、折り返しの地点となる非常に大事な時と思います。総合戦略の策定、改定と皆様の多大な努力もあったかと思っています。そのような過去の経緯を理解し、受け止めながら今後、恵庭の地域創生にお役に立てるよう取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願い致します。
F委員	今年の4月に紋別市から転勤してきました。今回転勤してきて思うのが、北海道の中では稀に人口が増加している地域で、素晴らしい恵庭市が、名前の

	とおりもっと恵まれた庭になるように協力していきたいと思っています。よろしくをお願いします。
G委員	金融機関の分野で参加させていただいているので、資金面はもちろん、銀行特有のネットワークを使った情報の提供や色々な部分で皆様のお役に立ちたいと思っています。よろしくをお願いします。
H委員	労働者代表でもあります。職場は恵庭市立和光小学校です。日々、小学生や子どもたちと接する中で、子どもたちが成長していくこの恵庭市を少しでも前に進めていくお手伝いできればと思います。よろしくをお願いします。
I委員	市内を中心に経営者の方の人に関する部分のお手伝いをさせていただいています。今回から参加ということで、わからないことも多いですが、勉強をさせていただきながら、参加していきたいと思っています。よろしくをお願いします。
司会	<p><b>【次第5. 座長選任】</b></p> <p>事務局案：座長 小磯委員、副座長 渡邊委員として委員に諮る。</p> <p>委員は全員一致で事務局案を了承、承認。</p> <p>以下、座長、副座長あいさつ。</p>
座長	改めてよろしくをお願いします。恵庭市の総合戦略策定にあたって、国の動向をどう受け止めていけばいいのかを模索しながら一緒に進めてきましたが、恵庭市はその状況を前向きに捉え、総合戦略を恵庭のまちづくりに積極的に活用していこうという進め方をしています。北海道や他の自治体にも携わっていますが、恵庭市の取り組みは良い意味で地方創生の政策をしっかりと使い切っているなと思います。逆にいうとそれだけに、これからどう進めていくのかが問われていると思います。そういうところが今年度の懇談会における一つの議論の関心事項でもあります。そのような思いで務めさせていただきたいと思っています。皆様方にご協力いただきながら進めていきたいと思っています。よろしくをお願いします。
副座長	座長を支援しながら、しっかりと取組んでいきたいと思っています。今後ともよろしくをお願いします。
座長	<p>以下、座長による進行。</p> <p>この後の議事については、ご意見がある方には適宜、ご発言いただくという流れで進めていきたいと思っています。</p>
事務局	<p><b>【次第6. 議事】</b></p> <p>(1) 地方創生加速化交付金効果検証について</p> <p>(2) 平成28年度地方創生推進交付金効果検証について</p>
座長	ご質問やご意見等がありますか。では、私から質問させていただきます。今回、このような形で実績を出して、KPIという目標値を設定して、どの

	ような感想を持ちましたか。
市長	この交付金を活用する以上、ある程度の数値を出すことは仕方ないと思います。ただ、事業自体の効果等は、K P I の数値だけでは表せません。その事業に参加していただいた方の感想を大切に、評価をしていきたいという思いがあります。例えば、資料 1-8「協働労働プラットフォーム事業」、「児童・生徒への学習支援及び食事提供モデル事業」を実施した時に、実績として 10 数名に参加していただきましたが、子どもたちの様子をみると、子どもたちの居場所として、非常に素晴らしいものになったと感じました。地方創生の一環として、子どもたちの居場所づくりを展開させていただいたことは大変良かったと思っています。今年度は実施する地域を 2 ヶ所増やして、3 ヶ所で実施しています。事業を実施していただいている方の声も聴くと、非常に良い事業だと感じています。
座長	今のようなお話が、まさに評価の対象になると考えています。K P I の数値だけで有識者の意見を諮ることは難しいです。実態の評価を聞かせていただいて、評価をするという仕組みをつくっていったほうが良いと思います。K P I の手法にも限界があり、事業の評価はもっと大事な部分にあります。次回からは実態の評価を分析するというやり方のほうが良いと思います。
市長	事業を実施した部の担当者からの評価や意見も入れさせていただくということで、これから考えていきたいと思っています。
座長	懇談会の中で、外部有識者が全ての事業を評価することは物理的に不可能です。北海道のほうでも事業の評価をしています。会議メンバー全員ではなく私ともう一人の有識者がしっかり事業成果を確認して評価をするやり方を採っています。事業の評価の仕方は色々あるので、恵庭らしいやり方で評価を進めていっていいと思います。 その他に何かございますか。
D委員	資料 1-6 にある観光入込客数の推移のグラフは、何のデータを根拠に出しているのでしょうか。
後藤室長	観光施設のゴルフ場、道の駅、宿泊施設等を決めて、その入込客数から想定しています。
D委員	地域や選ぶ施設によって、変わってきませんか。
後藤室長	若干変わってくると思います。ちなみに、アウトレットは観光施設とは見なされておらず、商業施設とされているようです。ただ、今後は推計の仕方は変わってくる可能性もあります。
座長	基本的には北海道のほうで各市町村から上がってきた観光入込客数を全体集計する観点から、集計の仕方については統一されたものがあります。しかし、実態は各市町村の独自性に委ねられていますから、恵庭のような宿泊施

	設がなく、道の駅にたくさん人が訪れるというような地域は集計が難しいので、推測になってしまいます。
副座長	生の数字よりもトレンドを見たりする場合に、かなり効果があると考えています。
座長	恵庭の場合どういう視点で、どういう入込客数を出しているのか、次回にでも情報提供していただけたらと思います。 その他に何かございますか。
B委員	K P Iで0件や0人とありますが、どういうことでしょうか。
事務局	K P Iは3ヵ年先まで設定していますので、初年度は0で、2年目以降は増えていきますという形にしています。初動ではできないだろうという考えのもと、0と設定しています。
座長	色々なところで、K P Iを前提に出すと、わかりづらいし、事業の評価をするに適しているのか、毎年評価するのかと疑問ではあります。国に求められている部分は別として、やり方の工夫をしてみたらどうでしょうか。
事務局	<b>【次第6. 議事】</b> (3) 平成29年度地方創生推進交付金採択状況について
座長	推進交付金は補助率2分の1ですから、市の持ち出しもありますよね。その中で8,126万円はかなり前向きに、推進交付金を活用していこうという姿勢を感じますが、その辺はどうお考えでしょうか。
市長	これらの事業は総合戦略にも載せていて、推進していこうと方針も出していますし、加速化交付金の後継ということもありますので、積極的に実施していると思っています。
座長	今回の懇談会でも、事業内容についてご説明があるということでしたので、その機会に改めてお示しいただければと思います。 その他に何かございますか。
事務局	<b>【次第6. 議事】</b> (4) 恵庭市におけるCCRC実現に向けた可能性調査及び方針(案)について
市長	首都圏から高齢者の方々に住んでいただくための場所を市が用意するとか、そういったようなことをする状況ではない。すでにサ高住も高齢者の比率に比して、用意されているということ、そのサ高住には市外からの移住がなされていること、そういったことを考えるとCCRCという新たな施策を展開する必要はないと考えたということです。ただ、高齢者の方が多くなる、消費が落ち込むというようなことがありますので、それに対する対策として、高齢者の職場をどのように用意するか、所得を増やすための方策はどのようにするのか、健康のためのポイント制度をどう取り入れていくかなど、高齢者が健

	<p>康でいつづけるための方策は必要ではないかとまとめました。</p>
座長	<p>CCRCは国が海外の事例から提起してきた政策ですが、今の市長のお話を聞くと、まさに恵庭らしいこれからの高齢化社会に向き合うまちづくりの課題に焦点を当てた独自の政策を提起されていていいと思います。さすが恵庭市という感じがします。</p> <p>個人的には高齢者向けの就業状況、いわゆるアクティブシニアと言われていますが、10年前には想像ができなかった70歳を迎える高齢者がいる程度働いていけるような社会になってきている。そのための仕組みがあまりにも遅れている。国の政策を待つのではなく、自治体としてどこに、どういう形で何ができるのかが求められています。一番大きな問題が、就業問題。そんなにフルで働けなくても、その方が今まで培ってきた経験や技術が、社会のニーズとマッチングするような政策を自治体が工夫することによって、アクティブシニアの活動の機会が得られれば、まさに地方創生になります。65歳以上の高齢者の約8割は元気です。その元気な方が活躍できる仕組みづくりが日本ではできていない中で、恵庭として、何ができるのか。こういう機会でも議論されていけばいいと思います。</p>
事務局	<p><b>【次第6. 議事】</b>  (5) まちづくり拠点整備事業について</p>
座長	<p>これらの事業は総合戦略の中で、ガーデンデザインプロジェクトとして進められています。核となる事業は、まちづくり拠点整備事業や住宅地のスマートタウン構想、川のまちづくりであり、そういうのを一つの絵で魅せていくという工夫をされると、更に恵庭らしく体系的に進めているということがメッセージとして伝わるとと思います。せっかく良い取組みなのに、個別のペーパーだけで説明されると、全体のつながりがわかりにくい。これからの政策にはわかりやすい発信が大切になってきます。ガーデンデザインプロジェクトという形の中で、どういう事業が、どういう形で展開されているかを見せたほうが私はいいいと思います。</p>
市長	<p>資料には全部、入っていますが、ごちゃごちゃしていてわかりにくいですね。その辺、整理させていただきます。</p>
座長	<p><b>【次第6. 議事】</b>  (6) その他（今後に向けての総合戦略改定についての意見）  全体を通して、何かございますか。</p>
F委員	<p>恵庭市は人口が増えていて、あまり空き家がないのかもしれませんが、空き家の把握はされていますか。また、情報発信はどうしていますか。</p>
浅香部長	<p>平成25年住宅・土地統計調査結果では空き家2,890戸、空き家率9.7%となっています。空き家を活用した取組みについては、従前は市のほうで情報発</p>

	信等を行なっていましたが、現在は不動産会社に委ねている状況です。今後、生活環境部等も含めて空き家の利活用については検討することとなっています。
市長	例えば、ボロボロになって危険だというような特定空き家については、対策をしていかなければいけません。一般的な空き家についてはだいたいいリニューアルして、新しい人に入ってもらっています。特に恵み野は空き家の回転がいいと不動産会社から聞いています。そういったことから、特に恵庭市としては対策をしなくても、比較的民間でやっていただけているのかなと考えています。
座長	非常に恵まれた話ですね。恵庭でなければできない住宅造りとかも、これからは大事なコンセプトになってくると思います。
市長	首都圏で移住相談会や、本気の移住フェアなどに参加していますが、比較的若い世代の人たちが相談にきています。そして、実際に移り住んでいる人もいますが、彼らの悩みは仕事、賃貸住宅です。例えば、テレワークなど恵庭に住んでいても首都圏の仕事ができるというようなセンターを恵庭につくることができれば、もっと移住してもらえると考えています。
座長	急速に変化しているネット社会において、新しい仕事のあり方とか、恵庭なら色々なものを受け止められる戦略があるように思います。
市長	そういうものも探っていきたいと考えています。子どもを育てながら良い自然環境の中での暮らしを提供できると思います。
座長	空港と札幌市間に素晴らしいまちがあるという発信をしていけば、まだまだ色々な可能性があると思います。
F委員	今のような話は北見市、斜里町、別海町などが取組んでいるはずなので、そういうところと情報交換してみるのもいいかもしれません。
座長	最後に事務局より、何かございますか。
事務局	<b>【次第7. その他】</b>
座長	今年度、第1回目の恵庭創生懇談会を終了します。 ありがとうございました。